



議会だより

No.148

平成26年2月
勝浦市議会報
編集委員会
電話0470(73)6662

目次

- 12月定例会の経緯・・・2ページ
- 常任委員会の審査内容・・・2ページ
- 議会トピックス・・・3ページ
- 議会日誌・・・4ページ
- 一般質問・・・4～7ページ
- 議案審議結果・・・8ページ
- みなさんの議会を傍聴しませんか
- 編集後記



市制施行55周年記念中学生議会

12月定例会

勝浦市税条例の一部を改正する条例 や各会計補正予算など14議案を可決、承認

平成25年12月定例会は、12月2日から12月12日までの会期11日間で開かれました。

本定例会では、勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定、平成25年度各会計の補正予算など市長提出議案14件の他、陳情1件、諮問1件を審議しました。

その結果、議案14件、諮問1件が原案のとおり可決、承認され、陳情1件が不採択となりました。

即決議案

◆議案第56号 専決処分の承認を求めることについて（平成25年度勝浦市一般会計補正予算（第6号））

歳入歳出予算の補正及び地方債の補正で、歳入歳出予算においては、既定予算に77万2千円を追加し、予算総額を88億639

万3千円にしようとするもの。地方債においては現年発生単独災害復旧事業債を追加したもの。

※補正内容

10月15日から16日にかけての台風26号による農地農業用施設、治山施設、漁港施設の災害復旧経費。

常任委員会の 審査内容

今期定例会では、総務常任委員会を12月9日、教育民生常任委員会及び建設経済常任委員会を12月10日に開催し、付託された議案、陳情の審査を行いました。

その審査結果が12月12日の本会議で各委員長（総務常任委員会は副委員長）から報告され、可決されました（陳情は不採択）。

総務常任委員会

◆議案第57号 勝浦市公告式条例の一部を改正する条例の制定について

いすみ農業協同組合の支所統廃合に伴い、掲示場の名称を改正するもの。

◆議案第58号 勝浦市職員の再任用に関する条例の制定について

職員の再任用に関し必要な事項を定めるための条例を制定し、併せて関係する条例の改正をしようとするもの。

◆議案第59号 一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

千葉県人事委員会勧告に基づき、若年層を中心とした職員の給与改定を行うため、所要の改正をしようとするもの。

◆議案第60号 勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について

例の制定について

地方税法の一部を改正する法律などが公布されたことに伴い、所要の改正をしようとするもの。

◆議案第61号 勝浦市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について

消費税率が平成26年4月1日から8パーセントに引き上げられることに伴い、所要の改正をしようとするもの。

◆議案第65号 平成25年度勝浦市一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の補正、繰越明許費の設定及び債務負担行為の補正で、歳入歳出予算においては、既定予算から6千257万円を減額し、予算総額を87億4千382万2千円にしようとするもの。

繰越明許費においては、社会資本整備総合交付金

事業について年度内に支出を終わらない見込額を翌年度に繰り越そうとするもの。

債務負担行為において、都市再生整備計画策定支援業務委託及び認定子ども園整備に関する基本構想・基本計画策定支援業務委託の2件を追加するもの。

◆陳情第2号 新聞への消費税軽減税率適用を求める陳情

教育民生常任委員会

◆議案第62号 勝浦市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

勝浦市老人デイサービスセンター総野園の休業日の見直しに伴い、所要の改正をしようとするもの。

◆議案第63号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律などが公布されたことに伴い、所要の改正をしようとするもの。

◆議案第66号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定及び直営診療施設勘定の歳入歳出予算の補正で、事業勘定においては、既定予算に3千546万8千円を追加し、予算総額を29億千533万8千円にしようとするもの。

直営診療施設勘定においては、既定予算に32万6千円を追加し、予算総額を7千94万5千円にしようとするもの。

◆議案第67号 平成25年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の補正で、既定予算に16万8千円を追加し、予算総額を2億2千186万9千円にしようとするもの。

◆議案第68号 平成25年度勝浦市介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の補正で、規定予算から千968万8千円を減額し、予算総額を22億4千730万4千円にしようとするもの。

建設経済常任委員会

◆議案第64号 勝浦市水道事業条例の一部を改正

する条例の制定について

消費税率が平成26年4月1日から8パーセントに引き上げられることに伴い、所要の改正をしようとするもの。

◆議案第69号 平成25年度勝浦市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入及び支出の補正で、収益的収入で269万円を追加し、収益的支出で163万6千円を減額しようとするもの。

諮問

最終日に市長から諮問が提出され、可決されました。

◆諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員候補者として次の方を法務大臣に推薦するにあたり議会の意見を求めようとするもの。

氏名 塩谷 恵理子
住所 勝浦市興津264

年齢 60歳
9番地の1

議会トピックス

議会改革検討委員会からの報告

○議会のインターネット中継について

本委員会では開かれた議会、積極的な情報公開を目的に、年に4回行っている市議定会の状況を、インターネットを利用し、動画配信することについて検討してきました。

インターネットを利用した議会中継は、県内37市中29市の議会に既に実施されています。

平成25年9月24日に開催した全員協議会において、平成26年12月定例会からの運用開始について議員全員の了解を得ました。今後は、運用開始に向け、細部について協議してまいります。

○議員定数及び議員報酬について

現在、議員定数は18人、議員報酬は平成23年に市の厳しい財政を勘案し、一律10%引き下げ、月額で議長333,000円、副議長306,000円、議員288,000円と定められています。

議員定数については、議会改革検討委員会において協議を重ねるうちに、大半の委員の「市の財政、人口減少の傾向から、減員すべき。」という意見と、「定数を減らすと民意の反映が難しくなるから現状維持とすべき。」という意見が平行線となり、止む無く決を取り、議員定数2名減を委員会としての結論としました。

また、平成25年12月12日に開催された全員協議会において、議員全員にこれまでの協議の経過及び協議結果を報告したところ、賛成多数で決定され、次回の選挙から議員定数を16人とする改正条例案を今年の3月定例会に提出することになりました。

また、議員報酬については、県内市で最も低い報酬額であり、引き下げしたばかりであることから現状維持という意見が多く、今後、全員協議会において検討結果を報告したいと考えています。

なお、議員定数の減に伴う常任委員会、議会運営委員会の委員の定数については、現在も協議中であり、方向性が示され次第、紙面において報告していきます。

～議員定数の変遷～

年 月	議員定数	年 月	議員定数
昭和31年8月～	30	平成11年5月～	22
昭和46年5月～	26	平成19年5月～	18
昭和58年5月～	24		

【議会日誌】

11月

1日 議会報編集委員会

5日～6日 建設経済常任委員会行政視察(栃木県那須塩原市)

15日 議会改革検討委員会

千葉県南市議会議長会議員研修会(富津市)

18日～19日 教育民生常任委員会行政視察(栃木県茂木町・塩谷町)

22日 市制施行55周年記念中学生議会

27日 議会運営委員会

12月

2日 12月定例会 本会議

議会改革検討委員会

4日 本会議 一般質問

5日 本会議 一般質問

6日 本会議 質疑

9日 総務常任委員会

10日 建設経済常任委員会

教育民生常任委員会

12日 本会議 最終日

全員協議会

議会改革検討委員会

1月

16日 議会改革検討委員会

27日 千葉県自治体病院経営都市議会行政視察(君津市)

28日 千葉県市議会議長会研修会(千葉市)

29日～30日 千葉県南市議会議長会正副議長研修会(静岡県掛川市)



千葉県南市議会議長会議員研修会

… 一般質問 …

市政の **ココ** が聞きたい

12月4日・5日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

4 日	磯野 典正 議員 1. 教育環境について	5 日	佐藤 啓史 議員 1. 圏央道開通に伴う対応について 2. 勝浦市の歴史文化遺産について 3. PM2.5について
	吉野 修文 議員 1. 2013関東・甲信越B1グランプリin勝浦の経済効果について 2. 防犯カメラの増設について		戸坂 健一 議員 1. 浜勝浦川の環境改善について
	松崎 栄二 議員 1. 有害鳥獣捕獲事業報償費及び業務委託料について 2. 守谷海岸の砂浜オーバーフローについて		
	藤本 治 議員 1. 市長の政治姿勢と平成26年度予算の編成について 2. 防災・減災での今後の課題について 3. 生活保護と扶養義務の強制について 4. 東千葉メディカルセンターへの財政支援について 5. 教育委員会制度の改変について		



磯野 典正 議員
(新創かつら)

教育環境について

問 小学校・中学校の教育環境について

小中学校の生徒数の減少に伴い、適正規模・適正配置について市内検討委員会が開催されたと聞いているが、その内容と会議の回数は。

答 また、昨年の12月議会で答弁いただいた年次計画の中で、保護者や地域住民の方々の意見交換を実施するとあったが、本年度のこれまでの会議や意見交換の内容は。

答 昨年の12月以降2回の市内検討委員会を行った。1月の内容は、今後の年次計画、平成25年アンケート調査、意見交換の実施、学校統合に関する検討委員会設置要綱案の策定、平成26年度に検討委員会を設置、再編計画案の策定、地元説明会の実施、平成27年度

に再編計画の公表及び地元説明会の実施という計画案が出された。

8月の内容は、小中学校で実施したアンケート結果の内容、児童・生徒数の推移及び今後の再編計画について話し合った。

これまでに串浜区民会館、鶴原青年館において各区役員、郁文小学校、清海小学校保護者代表、保育所保護者代表の方々と意見交換を行った。

問 中学校についてはどうのように考えているか。

答 中学校についても早急に学校規模等について検討していく必要がある。

問 教育委員会内に学校規模適正化推進室というような係を設けることはどうか。

答 今まで市内検討委員会という形で進めており、一般には公開していないが、今後、検討していきたい。

問 教育長の考える今後の小中学校の学校編成に向けたスケジュールの中で、着地点についてどう考えているか。

答 郁文小学校と清海小学校については、平成28年度から全校生徒が36名前後の児童数になってしまう。いろいろな支障が出る前に統合をする必要があると考えている。一番児童数の減少する平成28年度に郁文小学校と勝浦小学校、清海小学校と興津小学校の統合を考えている。

中学校についても現状400名の生徒数だが、平成29年には320名から330名程度まで減少する。来年度には設置委員会を設け、検討していく。文科省でも推進しているコミュニケーションスクールのようなものも考えている。市内で1校の中学校を考えているので、地域を挙げて皆で子どもたちを育てていくようにしていきたい。



B1グランプリ時の本市の経済効果について



吉野 修文 議員
(新世会)

問 9月28日、29日に、二〇一三関東・甲信越B1グランプリin勝浦が本市で開催され、12万7千人が来場したが、本市の経済効果について伺います。

答 本市でも土産物、食事、宿泊等々相当の経済効果があつたと思います。商工会で集計中ですが、県内全体でおおよそ9億円の経済波及効果があつたのではないかと。

問 本市の経済効果が試算できるのか、できないのか再度伺います。

答 本市の経済効果を計算することは難しいと聞いています。

問 県内の経済波及効果が出ていのに、本市の経済効果が難しい、との答弁なのは私個人としては、経済効果は少なかつたのではないかと。

たのではないかと。本市はビッグひな祭り等々のイベントにより知名度は上がっており、観光客は来てくれていますが、経済効果を出すためには、観光、商工的にどのような施策を考えるのか。

答 観光交流施設、カッピビビジターセンターで、体験教室を実施しております。内容は市野川営農組合の協力で、稲刈り、キウイ狩り、流しそうめん、コスモスの摘み取り、正月用の餅つき、また新勝浦漁協の協力です。

ところで、干物づくりなどの体験教室を実施しています。

今後も農林水産課と連携し、情報を共有して事業を推進し、体験教室の情報発信等に取り組んでいき、これら事業を積極的に進めていきます。

問 那須塩原市で事業展開している農観商工連携事業を視察しましたが、本市でも海産物及び農産物のブランド化の考えはあるか。

答 勝浦市では、勝浦産ひき縄カツオ、外房

イセエビ、外房あわびの三品目が千葉ブランド水産物に認定されていますが、米はJAいすみ米として販売しています。勝浦産としては無いので、今後、協議します。

問 市として独自にブランド化し、市を活性化していく考えは。

答 米の付加価値を高めるにはブランド化を進めていくことは大事なことで、農工商連携を進め六次産業化していく。

防犯カメラの増設について

問 B1グランプリが開催された間、会場周辺で警察の警備が1件も無かつたと聞いています。これは9月25日に市内主要交差点等に設置された六台の防犯カメラが有効であつたと思われませんか。今後増設の考えは。

答 地域の防犯力がアップすることから、今後、勝浦地区のみならず、興津、上野、総野地区などの駅や学校などを重点に設置します。台数は今後、検討します。

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は勝浦市議会会議録をご覧ください。



松崎 栄二 議員
(新創かつうら)

有害鳥獣捕獲事業報償費と業務委託料について

問 最近五年間の報償費、委託料の推移をお伺いします。

答 報償費は、平成20年度889万千円、21年度千42万6千円、22年度千399万7千円、23年度千235万千円、24年度千50万6千円です。

委託料は、平成20年度139万円、21年度181万9千円、22年度240万円、23年度250万円、24年度304万円で

問 市内の狩猟免許取得者数及び年齢層は。

答 銃器及びワナ免許取得者の数が12名、銃器のみの免許取得者が2名、ワナのみの免許取得者が30名、全体で44名です。年齢層ですが、30歳代4名、40歳代3名、50歳代6名、60歳代21名、70歳以上が10名です。

問 委託料は増え続けている中で報償費は平成22年度よりピークアウトしているが、狩猟者の年齢層、或いは小動物のキョンが増えているのが原因と考える。特に捕獲が難しいキョンの報償金を上げることはできないか。

答 キョンの捕獲単価につきましては千葉県中南部市町村の有害鳥獣対策会議の中で話し合っています。

問 農地荒廃、農業生産意欲低下を防ぐために農業者自ら講習会等により取得できる、有害鳥獣捕獲を目的としたワナ限定の許可証制度はできないか。

答 千葉県知事の許可制です。県に確認、協議します。

問 山林から農地、道路、民家内迄はびこる山ビルについて市ではどのような対応策を考えているのか、また薬剤無償配布はできないか。

答 山ビルについては、千葉県をはじめ、神奈川県、秋田大学等において研究中ですが、現在

のところ抜本的な対応策は確立していない。薬剤は無償配布よりも防除法として、山ビルは太陽光線乾燥地を嫌うため樹木の選定、堆積した落ち葉の除去、下草刈り等による地表面の乾燥が有効です。今後、広報等で周知するとともにシカ等による媒体が考えられていることから有害鳥獣捕獲で生息数の削減を図ります。

守谷海岸、砂のオーバーフローについて

問 守谷海岸の砂のオーバーフローを防ぐため防波堤の嵩上げする考えはないか。

答 砂の除去には地元の皆様が協力をお願いしております。嵩上げは出来ませんが、防砂ネットの布設案がありますので地元区の意見を聞きながら県に要望していきます。



キョン

水道料金と国保税の引き下げについて



藤本 治 議員
(日本共産党)

問 4月からの消費税増税と社会保障解体など、国の悪政から勝浦市民の暮らしを守るため、水道料金と国保税の引き下げを平成26年度予算に盛り込むべきと考えますが、市の対応、見解は。

答 水道、国保の各会計の現在の状況では引き下げは困難です。

問 各会計の中でよりくりにして引き下げるのは確かに難しいと思いますが、必要なのは、一般会計から繰り入れを行い、それを財源に市民負担を軽減することです。水道及び国保会計へ共に一般会計からの繰り入れを行っていない自治体は近隣ではどこか。

答 長生、夷隅、安房の3郡市15自治体のうち、勝浦市と鴨川市だけ

問 ほかでは当たり前にやっている繰り入れを、なぜ勝浦市はやらないのでしょうか。

答 相当の繰り入れをやらなければならないと水道料金は下がりません。一回出せば、半義務的な経費になり、県の高料金対策(繰り入れ額以内の補助金)を受けるにしても、毎年相当の額を出し続けなければならないので、できないと判断しました。

防災・減災での今後の課題について

問 公共施設の耐震性をどう把握しているか。

答 建築基準法改正以前

問 自主防災組織は全区域にあるべきものと思うが、限られた地域にしかできていない。目標と計画が必要ではないか。

答 海側には16の区があり、今回設立

された吉尾区、今後予定の串浜区、松浦区で設立されると、半分の8つの区で自主防災組織が設立されます。今後、海側の16区すべてに自主防災組織をつくっていきたいと考えています。

問 災害時要援護者避難支援プランが市協力員と民生委員に配られたが、どう活用するか戸惑いがある。要援護者と支援者はそれぞれ何人か。

答 個人情報なので取り扱いは十分注意しながら、地域で情報の共有をはかっていただきたい。要援護者の登録は千312人、支援者の集計はしていません。

生活保護と扶養義務の強制について

問 扶養義務履行の照会文書が誤認をさせる恐れがあるから訂正したというが、どういう誤認が想定されたのか。

答 以前の文書では「扶養義務者の扶養、援助を優先的に受けることが前提」となっていたが、前提ではないと国から指示されたので訂正した。



佐藤 啓史 議員
(新創かつうら)

圏央道開通に伴う 対応について

問 圏央道開通と市原鶴舞ICの開通は、勝浦市の観光・物流・輸送などの地域経済の振興にとって大きな役割を果たすものと考えますが、市のプロモーションについてお聞きます。

答 勝浦ビッグひなまつりを見据えて、大手バス会社に対してのPR活動、首都圏のバス会社に対してダイレクトメールによるプロモーションを実施している。また、観光交流施設KAPPYビクターセンターを活用し、情報発信を図り観光客誘致に努めていきたい。

問 圏央道開通の効果をもっと高めるためには、国道297号の整備が必要と考えます。国道297号の整備計画と整備状況についてお聞きます。

答 夷隅土木事務所管内での整備計画のうち、松野バイパスについては、松野・杉戸間において、平成31年度までの開通を目標に整備を行っている。横山バイパスについては、暫定的な対策として、羽黒坂の現道を拡幅改良する予定である。

問 高速バスの勝浦羽田空港間を結ぶ直行便の乗り入れは交流をキーワードに掲げる猿田市政にとつては必要なことと考えますが、ご見解を伺います。

答 乗車利用者数の状況等から、直行便の運行は大変厳しい状況であると考えられるため、乗り継ぎ場所の市原鶴舞BTでの接続、待合時間の短縮により利便性を図れるよう要望していきたい。

勝浦の歴史文化遺産について

問 黒船ハーマン号を世に出す会のこれまでの活動状況及び市の取り組み状況についてお聞きます。

答 昨年と一昨年の2回、官軍塚において慰霊祭を開催した。昨年は米

国大使館の公使をお迎えし、追悼の意を捧げるとともに、理解を深め、意識の啓発を図ってきた。今後は世に出す会と連携を図りながら、ハーマン号事件にスポットを当てた歴史的遺産の活用と保存に努めていきたい。

問 養珠院お万の方の大河ドラマ化についての見解を伺います。

答 安藤操氏がお万の方にまつわる小説を執筆されたと同っており、今後、お万の方にかかわる新たな史実の発掘に努めながら、大河ドラマ化について調査・研究していきたい。

PM2.5について

問 高濃度の微小粒子物質PM2.5が市原市内の複数の観測地点で測定されました。健康への悪影響が心配されますが、市のPM2.5対策についてお聞きます。

答 勝浦市では、北中学校の敷地内に計測機器が設置されている。市としては、県からの通知に基づき市民の方に注意喚起をする考えでいる。



戸坂 健一 議員
(新創かつうら)

浜勝浦川環境改善策、及び蓋掛けの計画について

問 浜勝浦川について、これまでどのような調査を行い、どのような改善策を実施したのか。

答 昨年度実施した河川環境調査及び美化事業、その報告書により、流域世帯や事業所からの未処理排水や点検清掃が不十分な浄化槽からの排水が汚濁の原因であると解った。調査を受け河川清掃や啓発活動、事業所への状況調査や浚渫工事、壁面清掃等を実施した。

問 50年後の勝浦市を見据え、浜勝浦川をどのように改善していく予定か、その方向性は。

答 浜勝浦川の環境改善は、必須であり、行政として何とか浄化したい。今まで以上に広報啓発や清掃活動を行っているかなければならない。

問 今議会において朝市通り・商店街の景観整備事業に伴う浜勝浦川の蓋掛けに係わる予算が計上されている。河川が蓋掛けされればこれまでのように河川環境が悪化するのとは避けられない。事業の詳細をお聞きます。

答 平成26年度に仲本町、下本町朝市通りの景観整備事業を計画しているが、それに合わせて浜勝浦川の一部を暗渠化し、歩行者の安全確保のため車道と歩道を整備する予定である。

問 浜勝浦川の蓋掛け、暗渠化については、これまでの河川環境改善政策と矛盾しないか。また、これまで以上の環境改善策が必要になるが。

答 これまで以上に河川環境美化と環境意識の向上に努めていきたい。河川の一部蓋掛けは、河川環境にとって大きな悪影響を及ぼす。今は昨年度の河川調査の報告を受けて、しっかりと河川浄化対策を協議すべき時期であり、この様な重要な事業は新年度予算に計上すべきでは。

問 今回の予算計上は、臨時交付金が活用できるという事でこの交付金が平成26年度で終了する事、また暗渠化の工事の工期等を考慮したものか。

答 これは勝浦市の未来に大きく影響を及ぼすもので徹底的に議論を尽くして決定すべき重要な政策だ。今回の蓋掛けに際し庁内で十分な議論がなされたのか。

問 執行部・関係各課で協議し、観光面での景観整備の必要性から今回予算計上を行った。

問 浜勝浦川浄化対策推進協議会が設置されているが、この件について事前に協議をしたのか。

答 この件についての協議は行っていない。

問 景観整備に伴う蓋掛けに当たっては、河川浄化対策とワンセットで進めていかななくてはならないが、市の考えは。

答 今回の歩道整備に伴う蓋掛けは、環境改善政策とはバッティングするが観光行政を優先し必要と判断した。蓋掛け実施に当たっては河川環境改善策も引き続き行う。

12月定例会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第56号	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度勝浦市一般会計補正予算）	承認◎
議案第57号	勝浦市公告式条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第58号	勝浦市職員の再任用に関する条例の制定について	可決◎
議案第59号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第60号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第61号	勝浦市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第62号	勝浦市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第63号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第64号	勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第65号	平成25年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第66号	平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	可決◎
議案第67号	平成25年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決◎
議案第68号	平成25年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	可決◎
議案第69号	平成25年度勝浦市水道事業会計補正予算	可決◎
陳情第2号	新聞への消費税軽減税率適用を求める陳情	不採択×
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決◎

◎全会一致 ○賛成多数 ×賛成少数

編集後記



議会だより第148号をお届けします。

本号は、平成25年12月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧ください。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。（<http://www.city.katsuura.lg.jp>）

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343番地の1 勝浦市議会事務局内
勝浦市議会報編集委員会 ☎ 73-6662

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】

平成25年3月定例会 20名
平成25年6月定例会 36名
平成25年9月定例会 16名
平成25年12月定例会 42名